

## 審判員の方々へ

- ① 審判員の審判旗は、専用の審判旗とし、各自の審判旗がある場合は持参する。
- ② 審判員の試合場への入退場、合議、試合終了後の反省の時は、1 m以上の間隔を空けて行う。
- ③ 審判員は、選手の状況を観察しながら審判し、必要に応じ、休憩を取り試合者を休ませる。

### 試合方法と審判規則

- (1) 一般財団法人全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」に準じて行うとともにコロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法によって行う。
- (2) 団体試合はトーナメント方式を基本とするが、参加チーム数によってはリーグ方式を行う。
- (3) 個人試合はトーナメント方式で行う。
- (4) 試合時間

#### ◎団体試合

2分3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。但し、代表試合になった場合は、2分ずつ時間を区切って1本勝負とし、勝敗の決するまで行う。延長3回ごとに休憩3分（面を取って水分補給可）を設ける。代表試合の選手は全国大会に準ずる。（中堅・副将・大将から各試合場にて抽選で行う）

#### ◎個人試合

**小学生：**2分3本勝負とする。なお、時間内に勝敗が決しない場合は1分間の延長戦を行い、なお勝負が決しない場合は審判の判定により勝敗を決する。準々決勝以降は延長戦を2分ずつ時間を区切って1本勝負とし、勝敗の決するまで行う。延長2回目後に休憩3分（面を取って水分補給可）、その後延長3回ごとに休憩3分を設ける。

**中学生：**3分3本勝負とする。なお、時間内に勝敗が決しない場合は1分間の延長戦を行い、なお勝負が決しない場合は審判の判定により勝敗を決する。準々決勝以降は延長戦を2分ずつ時間を区切って1本勝負とし、勝敗の決するまで行う。延長2回目後に休憩3分（面を録って水分補給可）、その後延長3回ごとに休憩3分を設ける。

- (5) 選手は鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、すぐ分かれるか引き技を出す。審判員は、鏝競り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。

- (6) 決勝審判は団体試合、個人試合とも指定審判員とする。